



## 第22回常任理事会

**日時** 平成23年2月8日（火）18：00～21：00  
**場所** 北海道医師会館9階・理事会室  
**出席者** 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、柳山・北野・渡邊・三戸・小山・目黒・藤井・藤原・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科各常任理事、水元・中村・大口各監事  
 （事務局：島影事務局長ほか13名）

### 協議事項

- 第1号 平成22年度一般会計収支予算の補正に関する件（深澤常任理事）**
- 第2号 平成22年度収益事業特別会計収支予算の補正に関する件（深澤常任理事）**  
 平成22年度の一般会計ならびに収益事業特別会計の補正予算（案）を承認決定。
- 第3号 平成23年度基本的活動方針に関する件（長瀬会長）**  
 平成23年度の基本的活動方針（案）につき意見集約の上、理事会に諮ることと決定。
- 第4号 平成23年度一般会計収支予算に関する件（深澤常任理事）**
- 第5号 平成23年度救急医療対策費特別会計収支予算に関する件（深澤常任理事）**
- 第6号 平成23年度社保対処費特別会計収支予算に関する件（深澤常任理事）**
- 第7号 平成23年度収益事業特別会計収支予算に関する件（深澤常任理事）**
- 第8号 平成23年度会員共済特別会計収支予算に関する件（深澤常任理事）**  
 平成23年度の一般会計ほか4特別会計の予算（案）を承認決定。
- 第9号 第135回北海道医師会定時代議員会の開催に関する件（深澤常任理事）**  
 第135回北海道医師会定時代議員会を、3月12日（土）午後3時から、翌13日（日）午前10時から、北海道医師会館8階会議室において開催することで

提出議題を決定。

**第10号 平成23年北海道医師会定時総会の開催に関する件（深澤常任理事）**

平成23年定時総会を、3月13日（日）午後2時30分から、北海道医師会館8階会議室において開催することで提出議題を決定。

**第11号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡邊常任理事）**

申請のあった日医生涯教育講座50件、道医認定生涯教育講座43件、合計93件を承認することと決定。

**第12号 第6回理事会の議案に関する件**

（深澤常任理事）

2月13日（日）午前10時から、北海道医師会館9階理事会室で開催する標記会議の提出議題を決定。

### 報告事項

#### 1. 監査報告

（内部監査：大口監事、外部監査：中村監事）

#### 2. 保険医療医師研修懇談会について

（藤原常任理事）

各会員が、より適正な保険診療を実践していただくことを目的に、平成14年度より全道各地に赴き開催している。今年度は美唄市、新ひだか町、富良野市、江別市の4地区5医師会の会員を対象に開催した。各回とも「保険診療上のルールと指導・監査」「保険診療上の留意事項」等について担当役員より説明した後、質疑応答・意見交換を行った。受講者はのべ77名であった。

#### 3. 「子宮頸がん予防」普及・啓発のための研修会[1月13日（木）・伊達市、27日（木）・新篠津村、31日（月）・浦臼町]について（藤井常任理事）

本研修会は、北海道教育委員会の「子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業」にもとづき、各市町村が主体となって実施（全道21ヵ所）された。保護者・学校関係者等に対し、子宮頸がんの予防、早期発見のための正しい知識の普及啓発を行うことが目的である。講師は北海道産婦人科医会の全面的な協力を得て選定しており、小職も3ヵ所において講演を行った（参加者数：伊達市60名、新篠津村27名、浦臼町26名）。

#### 4. 第32回産業保健活動推進全国会議[1月27日（木）・日医]について（畑副会長）

日医・原中会長（代理・羽生田副会長）ら4主催者の挨拶に引き続き、午前は、大阪府と栃木県から地域産業保健センター事業に関する活動事例が報告された。午後は、厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課・鈴木幸雄課長より「今後の産業保健活動に対する国の支援」について、日医・今村（聡）常任理事より「医師会における産業保健活動」についてそれぞれ説明・報告があり、その後、各地域からの質問・要望に対する質疑応答が行われた。

#### 5. 地域医療福祉情報連携協議会発足記念シンポジウム[1月28日（金）・東京]について

### (直江常任理事)

すでに全国の地域ごとに稼働している医療情報ネットワークの協働を図り、全国的な「地域医療連携情報データベース」を整備して、地域医療支援に活用することを目的に開催された。今後、医療団体、学会、自治体などに参画を求め、個人や民間企業からも賛助会員として支援を得て全国的な展開を目指す、田中博会長（東京医科歯科大大学院教授）が趣旨説明を行った。自治医科大地域医療学センターの梶井英治センター長や厚労省大臣官房の唐沢剛審議官が講演。全国11の地域のネットワーク関係者から稼働状況について報告がなされた。また、16企業の最新機器が展示された。参加者は約600名であった。

### 6. 道内急病センター（診療所）連絡会[1月29日（土）]について（目黒常任理事）

釧路市夜間急病センターより医師確保についての取り組み状況を説明の後、各急病センターから運営状況と問題点について報告があり、意見交換を行った。

### 7. 救急医療研修会[1月30日（日）]について

#### (目黒常任理事)

帝京大学医学部救急医学講座・坂本主任教授を講師に迎え、昨年10月に公表された「救急蘇生法ガイドライン2010」をテーマに講演。医師、消防関係者等、合計289名が出席した。

### 8. 救急医療対策部会全体会議[1月30日（日）]について（目黒常任理事）

北海道小児救急地域医師研修事業、北海道救急医療フォーラム等、今年度事業の実施状況ならびに、昨年末に公表された北海道の傷病者搬送受け入れ実施基準について策定に至る経緯等を小職より報告した。協議では、医療法人浜仁会手稲浜仁会病院・奈良救急科主任医長より「北海道航空医療ネットワーク研究会：HAMNについて」をテーマに発表いただいた後、千歳・旭川市・深川・旭川医大各医師会の部会員から、当該地域の救急医療体制の現状と課題、市民への啓発活動等について発言いただき、その後、意見交換を行った。

### 9. 日医女性医師支援センター事業北海道・東北ブロック会議[1月30日（日）・青森市]について

#### (藤井常任理事)

日医女性医師支援センター事業の概要について説明後、女性医師支援に関する取り組み等について各医師会より報告があり、意見交換が行われた。

### 10. 労災四者懇談会[2月1日（火）]について

#### (目黒常任理事)

北海道労働局、北海道労災保険指定病院協会、労災保険情報センター北海道事務所、北海道医師会の四者による標記懇談会を、今年度は当会が当番となり開催した。北海道労働局より「労災補償業務の現状」「業務上疾病の認定状況」について報告がなされ、

併せて「労災診療費審査業務の国への集約化」（労災保険情報センターが国から委託を受け行っている労災診療費等点検業務事業の労働局への集約化）について現状説明がなされた。引き続き、労災保険情報センター北海道事務所が行っている「労災診療援護事業（立替払い）」の今後の取扱いについて等、意見交換した。

### 11. 医療政策シンポジウム[2月2日（水）・日医]について（直江常任理事）

日医会館において「国民皆保険50周年～その未来に向けて」をテーマに開催され、特別講演「韓国医療の光と影：文太俊韓国医師会名誉会長、講演4題①「医療への市場原理導入論の30年一民間活力導入論から医療産業化論へ」：二本立日本福祉大学教授・副学長、②「皆保険50年の軌跡と我々が次世代に残した未来一再分配政策の政治経済学の視点から」：権丈善一慶應義塾大学教授、③「医療危機を乗り越えるために一改革はどうあるべきか」：田中秀一読売新聞東京本社編集局医療情報部長、④「日本の医療費水準と財源を考える」：遠藤久夫学習院大学教授・中医協会長、パネルディスカッションが行われた。

### 12. 全国メディカルコントロール協議会連絡会[2月4日（金）・松山市]について（目黒常任理事）

「救急救命士の社会的役割～救急救命士法施行から20年を振り返って～」をテーマに、東京臨海病院の山本保博病院長から特別講演があり、その後「傷病者の搬送及び受入れに関する実施基準策定・協議会設置の現状と課題」「救急救命処置・活動」「新ガイドラインを踏まえた消防機関の対応」について演題発表が行われた。

### 13. 第9回指導医のための教育ワークショップ[2月5日（土）・6日（日）]について（渡邊常任理事）

昨年同様、北海道との共催により実施した。参加者は28名。2月5、6日の二日間、16時間15分にわたり、講義、グループ作業、発表討論の形式で行われた。

### 14. 日医各委員会報告

#### (1) 勤務医委員会[1月14日（金）]について

##### (榊山常任理事)

昨年11月に開催された都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会の議論を踏まえ、「勤務医の視点からの医師会改革」について今枝委員からプレゼンテーションが行われ、その後、来年度以降のあり方について検討を行った。また、討論「具体的な取り組みの推進」に関し、小林委員より「カンファレンス鑑定」についてプレゼンテーションがあり、意見交換が行われた。

#### (2) 男女共同参画委員会[1月21日（金）]について

##### (藤井常任理事)

女性医師支援センター事業、第7回男女共同参画フォーラムの内容等について検討を行い、その後、諮問についての議論「情報提供の方法

について(情報の集約)に関し、小職よりプレゼンテーションを行った。

(3) **地域医療対策委員会[1月28日(金)]について**  
(三宅副会長)

松田晋哉先生(産業医大公衆衛生学教授)から「DPCについて」をテーマに講演があり、その後、社会保障審議会医療部会の報告がなされた。

(4) **看護職員検討委員会[2月2日(水)]について**  
(北野常任理事)

冒頭、羽生田副会長よりTPPに関する医療分野の問題について説明があった。その後、事務局より「看護師等の「雇用の質」の向上に関する省内プロジェクトチーム」設置に対する日本医師会の対応や「平成23年度看護師等養成所運営費補助金(予算案)」などについて説明があり、会長諮問に関するフリートークを行った。

(5) **病院委員会[2月2日(水)]について**  
(直江常任理事)

千葉潜委員より「小規模精神科病院の現状と精神科医療費」、二木立委員より「『医療(病院)冬の時代』論とその変種の30年—民間(中小)病院の活力の再評価」についての講演があり、それぞれ質疑応答が行われた。

(6) **医療IT委員会[2月3日(木)]について**  
(水谷常任理事)

最初に石川常任理事から中央情勢について近況報告があった。議事では、諮問「ORCAの評価と今後」「日医認証局の稼働」に対する答申作成に関して、作成中の答申案についてディスカッションを行い、最後に今後のスケジュールを確認し閉会した。

(7) **医療安全対策委員会[2月3日(木)]について**  
(橋本常任理事)

3月までに各委員の所属する医師会での取り組みを計画し、6月末までに実践結果をまとめ、日医委員会へ報告することになる。その具体的実践計画について、各委員から説明が行われた。実践方法としては、「医療事故削減戦略システム」を活用した医療機関内での展開を想定している。

(8) **公衆衛生・がん対策推進委員会[2月3日(木)]について**  
(畑副会長)

3つのワーキンググループ(①特定健診を含めた今後の健診のあり方、②日医としてのがん対策への取り組み、③がん地域連携クリティカルパスへの取り組み)のメンバーと目的について再確認を行った後、会長諮問に関するフリートークを行った。

15. **外部各委員会報告**

(1) **小規模自治体病院等看護職員派遣検討会[1月26日(水)]について**  
(北野常任理事)

事務局より道内の自治体病院看護職員確保に係る実態調査結果についての報告や看護職員確保対策に向けた支援方策について説明があった。その後、各委員から派遣元と派遣先の現況を踏まえた課題(市町村ごとに異なる条例等)や要望などを挙げ、活発に意見交換が行われた。

(2) **道民の健康づくり推進委員会 第2回地域・職域連携推進専門部会[1月27日(木)]について**  
(三戸常任理事)

糖尿病等生活習慣病予防のためのスキルアップ研修や、たばこ対策に係る禁煙実施状況調査について報告があった。その後、総合的な生活習慣病対策の推進、がん検診受診率向上に向けた取り組み、職域におけるメンタルヘルス対策の推進について協議した。

(3) **北海道感染症危機管理対策協議会 麻しん対策専門委員会[2月1日(火)]について**  
(三戸常任理事)

都道府県における麻しんの発生状況や予防接種状況について報告があった後、北海道における麻しん対策に関するこれからの取り組み等について協議した。

(4) **北海道小児救急医療体制整備推進協議会[2月3日(木)]について**  
(三戸常任理事)

会長に富樫委員、副会長に山中委員・三河委員を選出後、協議会設置要綱の改正について協議し了承された。また、小児三次救急医療体制については、三次医療圏ごとに、2次・3次救急医療機関や医師会、消防機関・行政などで構成する協議の場を設け、①救命救急センターと他の病院(旧小児救急医療拠点病院等)との連携の強化による機能の充実②小児科医等の専門医の確保が図られ、小児集中治療室を整備することが可能な医療機関が存在する圏域においては、当該医療機関と関係医療機関等との連携の強化による機能の充実③小児救急医療に精通した医師の養成・確保の3点の方策を検討したいとするたたき台が示された。

(5) **北海道介護保険審査会三者代表合議体[2月4日(金)]について**  
(前川常任理事)

介護報酬返還請求処分に係る審査請求についての審理を行った。

## 第6回理事会

**日時** 平成23年2月13日（日）10：00～12：07  
**場所** 北海道医師会 9階「理事会室」  
**出席者** 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、榊山・北野・渡邊・三戸・小山・目黒・藤原・深澤・直江・橋本・前川・水谷各常任理事、山光・野呂・伊藤・津田・沖・鈴木・増田・堀・杉元・飯塚各理事、水元・中村・大口各監事、塩野議長  
(事務局：島影事務局長ほか13名)

### 1. 開 会 2. 会長挨拶 3. 報告事項

#### (1) 監査報告

(内部監査：大口監事、外部監査：中村監事)

#### (2) 第2回都道府県医師会長協議会[1月18日(火)]について(三宅副会長)

医師国民健康保険組合に対する適正な国庫補助金の存続について、指導大綱の見直しについて等12題の協議があった。詳細は日医ニュースを参照願いたい。

#### (3) 社保対処費検討委員会報告について

(深澤常任理事)

今年度の委員会報告が取りまとめられた。来月3月の第135回定時代議員会にて委員会報告が承認された後、今秋9月の第136回臨時時代議員会にて補正予算を上程する。

#### (4) 日医各委員会報告

##### 1) 乳幼児保健検討委員会[12月17日(金)]について(津田理事)

会長諮問「保育園保健の充実に向けて医師会はどう関わるべきか」に答えるべく、厚生労働省の動向を見ながらワーキンググループでの検討事項を協議した。

##### 2) 医師会共同利用施設検討委員会[1月19日(水)]について(伊藤理事)

9月3～4日山形国際ホテルにて開催の第24回全国医師会共同利用施設総会に向けて開催要領・発表施設等について説明がされ、その後会長諮問についてフリートーキングが行われた。

##### 3) 有床診療所に関する検討委員会[2月9日(水)]について(沖理事)

有床診療所のモデル的事業のケーススタディ調査経過につき報告の後、有床診療所の施設体系としての理念、有床診療所の法制上の位置づけとあり方につき議論を行った。

### 4. 承認事項

#### (1) 北海道医師会代議員および予備代議員の定数について(深澤常任理事)

定款第34条第35条にうたわれているように、代議員定数は毎年12月末日現在の会員数によって決定される。それによると北海道大学医師会が1名減員となることから、本会の代議員総数を現在の115名から114名とすることと承認決定。

### 5. 協議事項

#### 第1号 平成22年度一般会計収支予算の補正に関する件(深澤常任理事)

#### 第2号 平成22年度収益事業特別会計収支予算の補正に関する件(深澤常任理事)

平成22年度の一般会計ならびに収益事業特別会計の補正予算(案)を承認決定。

#### 第3号 平成23年度基本的活動方針に関する件

(三宅副会長)

平成23年度の事業項目を盛り込んだ基本的活動方針(案)を一部修正のうえ承認決定。

#### 第4号 平成23年度一般会計収支予算に関する件

(深澤常任理事)

#### 第5号 平成23年度救急医療対策費特別会計収支予算に関する件(深澤常任理事)

#### 第6号 平成23年度社保対処費特別会計収支予算に関する件(深澤常任理事)

#### 第7号 平成23年度収益事業特別会計収支予算に関する件(深澤常任理事)

#### 第8号 平成23年度会員共済特別会計収支予算に関する件(深澤常任理事)

平成23年度の一般会計ほか4特別会計の予算(案)を承認決定。

#### 第9号 第135回北海道医師会定時代議員会の開催に関する件(深澤常任理事)

第135回北海道医師会定時代議員会を3月12日(土)午後3時から、翌13日(日)午前10時から北海道医師会館8階会議室において開催することで提出議題を決定。

#### 第10号 平成23年北海道医師会定時総会の開催に関する件(深澤常任理事)

平成23年定時総会を3月13日(日)午後2時30分から北海道医師会館8階会議室において開催することで提出議題を決定。

#### 第11号 北海道医師会賞贈呈規程運用内規の一部改正に関する件(渡邊常任理事)

現行の運用内規には、被推薦者の主な業績文献についての表現がなされていないため、「提出文献は、邦文、欧文を問わず学会誌など査読の有するもの、また、筆頭著者であるものを数編以上含む事」を運用内規に追加することと決定。

#### 第12号 理事提案事項

看護学校の補助金の問題、精神科救急を含む救急医療全般にわたる補助金の問題、公益法人問題、医師会賞の選考の問題、道立病院の医師確保の問題等々意見要望が出された。

## 6. 道総医協関連事項（三宅副会長）

平成22年12月11日の第5回理事会以降に開催された会議について報告した。

## 7. 閉 会

# 第23回常任理事会

**日 時** 平成23年2月22日（火）18：00～20：38  
**場 所** 北海道医師会館9階・理事会室  
**出席者** 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・渡邊・三戸・小山・目黒・藤井・藤原・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科各常任理事、中村・大口各監事  
(事務局：島影事務局長ほか12名)

## 協議事項

### 第1号 母体保護法医師指定に関する件

(深澤常任理事)

2月の審査委員会で指定「可」とされた再審2名の申請者を指定医師とすることに決定。

### 第2号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件（小山常任理事）

認定要件を満たした新規10名、更新81名の申請を承認。日医へ申請することと決定。

### 第3号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件（小山常任理事）

認定要件を満たした新規5名、更新2名の申請を承認。日医へ申請することと決定。

### 第4号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡邊常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座21件、道医認定生涯教育講座31件、合計52件を承認することと決定。

### 第5号 その他

- 3月行事予定に関する件（事務局）

## 報告事項

### 1. 平成22年度小児救急地域医師研修会について

(目黒常任理事)

北海道からの委託事業として平成17年度より実施している本研修会を、北海道小児科医会の協力のもと、今年度も道内8地域で開催した。研修会の受講者は、延べ507名であり、受講した医師には北海道知事、北海道小児科医会長、当会会長の三者連名で修了証を交付した。

### 2. 第16回日本集団災害医学会総会・学術集会[2月11日(金)～12日(土)・大阪市]について

(目黒常任理事)

千里救命救急センター・甲斐センター長が学会長となり「災害医療！今、何ができて、何ができないか」をテーマに開催された。招待講演、特別講演、会長講演、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ、一般演題等が行われ、約1,000名の参加があった。次回は、平成24年2月21日（火）～

22日（水）に金沢市で開催される。

### 3. 日医医療情報システム協議会[2月12日(土)]について（水谷常任理事）

石川県医師会の担当により12日（土）～13日（日）の2日間にわたり日医会館で開催され、小職は12日のみ参加してきた。今回のメインテーマは「ITは人間の心と身体の健康を守るために如何に活用されているか？－そしてIT医療の更なる発展に夢と希望を－」で、医療分野においてIT技術をより広く活用しようという内容であった。特別講演1題、5つのシンポジウムが行われた。参加者は474名（講師等関係者含む）であり、非常に活発な意見交換がなされた。次回は、宮城県医師会が担当することとなった。

### 4. 労災・自賠責保険医療等改善対策委員会[2月19日(土)]について（目黒常任理事）

労災保険関係については、労災診療費審査業務の国への集約化、労災保険情報センターの今後の事業等について説明・報告した。また自賠責保険関係では、日医労災・自賠責委員会で現在検討されている、交通事故診療における健康保険の使用問題（優先順位の法制化）、交通事故診療に係る健康保険使用問題に関するアンケート調査の実施について説明するとともに、昨今問題となっている、柔道整復師に係る施術費用の適正化等についても併せて説明し、協議・意見交換を行った。さらに自賠責保険診療の現状（トラブル案件）についても報告し、損保側に改善を求めべく協議した。

### 5. 日医学校保健講習会[2月19日(土)]ならびに日医母子保健講習会[2月20日(日)]について

(三戸常任理事)

学校保健講習会は、「最近の学校健康教育行政の課題」「思春期の健康教育－産婦人科の立場から－」「子宮頸ガンにおけるHPVワクチンの意義」に関する3題の講演が行われた後、「普通学校における高機能自閉症の子どもをどのように考えるか」をテーマとしたシンポジウムが行われ、立場の異なる4名の方々からそれぞれ発表があった。

母子保健講習会は、「子ども支援日本医師会宣言の実現を目指して－5」をメインテーマに開催され、「HTLV-1子感染予防対策」「0歳児における虐待防止対策の取り組み」をテーマとした2題のシンポジウムが行われ、立場の異なる4名の方々からそれぞれ発表があった。

### 6. 地域産業保健センター連絡協議会[2月20日(日)]について（小山常任理事）

道内17センター中12センターの所在医師会代表者の出席を得て開催。過日開催の第32回産業保健活動推進全国会議の報告、来年度の地域産業保健事業の運営について協議の後に、本年度事業の中間報告を行った。また、北海道産業保健推進センターから、全国的な動きを含め、来年度事業内容の変更について種々報告があった。

## 7. 平成22年度産業保健各種研修会について

(小山常任理事)

当会主催の産業保健研修会(5回)、産業医学基礎研修会(前期・後期を各1回)、都市医師会委託のリフレッシュ研修会(3回)、リーダー研修会(4回)について実施(一部予定を含む)した。

## 8. 日医理事会報告(長瀬会長)

来年度の事業計画・予算案等につき協議した。詳細については、日医速報で報じており、そちらを参照願いたい。

## 9. 日医各委員会報告

### (1) 労災・自賠責委員会[2月9日(水)]について

(深澤常任理事)

交通事故診療を扱う医療機関においては、健康保険使用や人身傷害補償保険使用に絡み、さまざまな不合理点・問題点等があることから、それらを是正する(自賠責保険優先とする方策を図る)ことを目的として「交通事故診療に係る健康保険使用問題に関するアンケート調査」を実施することとし、その実施方法や設問等の細部について協議した。

### (2) 介護保険委員会[2月10日(木)]について

(前川常任理事)

三上常任理事より、要介護認定期間の改定に関する問題について説明、また、社会保障審議会介護給付費分科会における、区分支給限度基準額に関する調査の結果説明があったとの報告が行われた。各委員からの提出資料では、大阪府医師会作成の「主治医意見書マニュアル'10」、大分県医師会作成の「保険診療のてびき」が配布されたほか、介護施設の問題点をテーマとした資料の提出があった。小職からは旭川市の医療・介護体制について、需給バランスの観点から、老々・独居世帯の実態と要介護認定、医療・介護病床数の比較をデータで示し、供給過多の状況を報告。今後予想される問題点と介護体制の地域別の実態分析と対策の必要性を述べた。

### (3) 日医ニュース編集WG[2月17日(木)]について(山科常任理事)

TV会議システムにより参加した。最初に1月・2月分の日医ニュースの評価と3月分の日医ニュース企画案を確認した。さらに、日医ニュースのアンケート調査(案)について内容を検討し、設問等を決定した。なお、実施時期については、石川常任理事に一任することとなった。最後に、日医ニュースのブラッシュアップについてディスカッションを行った。

### (4) 医療政策会議[2月18日(金)]について

(長瀬会長)

日本福祉大学教授・副学長の二木立委員より、民主党の医療政策に関する話題提供があった。

## 10. 外部各委員会報告

### (1) 北海道肝炎対策協議会[2月9日(水)]について(畑副会長)

本協議会の設置規定により、小職が会長に選任された。肝炎対策基本法に基づく国の「肝炎対策基本指針」策定の進捗状況や来年度予算案、北海道における肝炎対策の来年度予算案とウイルス性肝炎進行防止対策医療給付事業などについて説明があった。また、専門医療機関(141件)の指定状況の報告があった。

### (2) 北海道医療審議会医療法人部会[2月15日(火)]について(畑副会長)

社会医療法人の認定は4件、医療法人の合併認可申請は1件、医療法人の設立認可申請は医科診療所29件。解散認可申請は病院2件、医科診療所7件それぞれ『可』とされた。

### (3) 北海道医療審議会地域医療部会[2月15日(火)]について(三宅副会長)

へき地等病院の医師配置標準特例措置申請があった2件ならびに診療所(産婦人科)における病床設置の届出があった1件について審議を行い、承認した。また、地域医療支援病院の運営状況について報告がなされた。

## 11. 中央情勢報告(直江常任理事)

行政刷新会議に設置されている規制・制度改革に関する分科会が、1月26日に示した中間とりまとめ(案)のうち、ライフイノベーションワーキンググループが取り上げた「医療法人の再生支援・合併における諸規制の見直し」の中で、営利法人の役職員が医療法人の役員として参画すること、医療法人が連携または救済の際に他の医療法人に融資・与信することが検討されていることの危険性を指摘した。